

平成30年度市民団体活動支援補助金公開成果報告会等
開催概要

1 公開成果報告会について

<開催目的>

市民団体活動支援補助金採択団体による補助事業の実施結果について、補助金審査を行った**市民活動推進委員会が活動成果を確認する場**を設けるとともに、併せて公開形式にて**市民に広く市民活動団体の紹介や公益的な活動の事例をPRする機会をつくる**ことにより、市民活動の輪を広げるきっかけをつくる。

日時：令和元年5月31日（金）午後2時15分～3時25分

会場：白井市役所東庁舎1階

しろい市民まちづくりサポートセンター多目的スペース

対象：平成30年度市民団体活動支援補助金採択団体

3団体（活動発展型3団体）

参加者：市民活動推進委員会委員 11名 一般市民 最大30名

本報告会は、広報しろい5月15日号掲載、ホームページへの掲載や公共施設へのポスター掲示をはじめ、広く市民に周知しました。

(1) 報告時間

1団体につき 報告時間：10分 質疑時間：5分程度

※質疑は市民活動推進委員会委員からのご質問に回答。

(2) 進行（報告順番） 開会：午後2時15分

進行		時間の目安（前後する可能性あり）
開会、説明		午後2時15分～2時20分
1	ステップ	午後2時20分～2時40分
2	特定非営利活動法人白井助け合いネット	午後2時40分～3時
3	ふじ元気ひろば	午後3時～3時20分
説明、閉会		午後3時20分～3時25分

(3) 報告内容

実績報告の際に提出いただいた「事業報告書」の内容をもとに、下記事項をおりませ報告するよう依頼しております。

(1) 事業目的

①事業を実施することになった理由・背景（市民ニーズ・地域の問題点や困りごと・地域課題など）

②事業実施前に考えた目標（ねらい・効果）

(2) 事業の内容

①事業の具体的内容

（いつ[時期]、どこで[場所]、だれに[対象]、なにを[内容]、どのように[方法]、どれくらい[頻度・回数]）

②事業を実施した体制

- ・事業に関わった人数や体制
- ・協力・連携した外部の組織や団体等

③告知方法…事業の周知・啓発・PR方法

(3) 事業実施中に起きた問題とその対応策

(4) 事業成果と今後の課題

①事業を実施して得られた成果、効果、良かったこと

②今後の課題

(5) これからの展望

①平成31年度以降の事業継続の見通しや事業発展の構想

(4) 報告形式

形式は問わず。

- ・パワーポイントなどを活用し、可能な限り視覚的に活動内容がわかるよう工夫
- ・パソコン、プロジェクターは市が用意。

(5) 報告者 3名以内

2 助成金講座について

<開催目的>

公益的な活動に取り組む市民活動団体は、活動資金面で課題を抱えている団体が多いのが現状です。

そこで、市民活動団体への安定的・継続発展的な活動と自立した団体運営を支援するため、民間助成金の仕組みや活用方法等を交え、独立行政法人福祉医療機構様の助成金の紹介講座を開催することとなった。

日時：令和元年5月31日（金）午後3時30分～4時30分

会場：白井市役所東庁舎1階

しろい市民まちづくりサポートセンター多目的スペース

(1) 講座名称

知っ得！市民活動団体のための民間助成金の仕組みと活用法

(2) 講師

独立行政法人福祉医療機構（WAM）

NPOリソースセンター NPO支援課 係長 渡真利 絃一 様

3 意見交換会について

<開催目的>

平成30年度白井市市民団体活動支援補助金を採択された3団体と、白井市市民活動推進委員会の委員長及び副委員長、市民活動支援課職員で意見交換を行い、それぞれの団体の現状や課題などを共有することにより、団体の自立の促進を図ることを目指す。

日時：令和元年5月31日（金）午後4時40分～5時15分

会場：白井市役所東庁舎1階

しろい市民まちづくりサポートセンター多目的スペース

(1) 意見交換会出席者

○各団体の参加希望者

○白井市市民活動推進委員会

委員長 関口 宏聡

（特定非営利活動法人 シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 代表理事）

副委員長 清水 洋行

（千葉大学大学院 人文科学研究院教授）

○白井市市民活動支援課

課長 岡田 光一

係長 松岡 正純

主事 長谷川 博篤

(2) その他

本意見交換会については、忌憚のない意見を伺うため、非公開として開催します。